－所蔵作品紹介－

桂　ゆき　KATSURA Yuki

作品

さくひん

作品データはこちら

桂ゆきは東京都本郷の生まれで、初期は日本画や油彩画の基本を学んだがそれに飽き足らず、戦前からコラージュなど前衛的な表現の作品を二科会や1938年の創立に参加した九室会に出品するようになった。彼女は「コラージュ」という西洋の技法の呼び名を知る前から、その方法を試みていて、本質的にコラージュの作家としての側面を持っていたと言って良い。戦後は、1962年に二科会を退会し、常に既成の画壇やグループから独立した個性的存在であり続けた。

この作品は、分厚いコルク板をボードに二重三重に貼り付けたコラージュの作品である。少女時代、躾の厳しい家庭に育ち、近所の子供と遊ぶことも許されなかったので、海岸で拾った骨や樹や虫やいろいろながらくたが遊び相手であり、彼女はそれらの中に生命を読み取っていた。この作品でも、コルクのザラザラ、ごわごわした触覚を生かしながら、素材の生命を大胆にひきだしている。

「北海道立旭川美術館コレクション選集1982-1997」（1998年３月発行）より